

岩手県金融経済概況（平成 27 年 6 月）

1. 概 況

県内経済は、緩やかな回復を続けている。

最終需要の動きをみると、個人消費は、底堅く推移している。住宅投資、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。

生産は、横這い圏内の動きとなっている。雇用・所得環境は、改善している。

消費者物価（除く生鮮食品）は横這い圏内の動きとなっている。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、底堅く推移している。

百貨店売上高（平成 27 年 6 月）は、前年を上回った（前年比+2.5%）。

スーパー売上高（平成 27 年 6 月；全店舗ベース）は、僅かながら前年を上回った（前年比+0.8%）。

新車登録・届出台数（平成 27 年 6 月）は、軽自動車の大幅前年割れ（前年比△17.8%）を主因に、6 ヶ月連続で前年を下回った（「登録車+軽」前年比△5.0%）。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額は、高水準を維持している。

—— 平成 27 年 6 月前年比は△12.0%となり、3 ヶ月振りに前年比二桁減となった。

新設住宅着工戸数（平成 27 年 5 月）は、主力の持家（前年比+9.6%）を主因に 3 ヶ月振りに前年を上回った（同+3.1%）。

—— その他の利用関係別では、貸家は 5 ヶ月振りに前年を下回った（平成 27 年 5 月前年比△10.8%）ほか、分譲は 4 ヶ月振りに前年を大幅に上回った（同+94.4%）。

民間設備投資(短観ベース；平成 26 年度実績、平成 27 年度計画)は、全産業ベースで前年を上回っている。

—— 平成 26 年度実績は、2 年振りに前年度を上回った(前年度比+1.5%<修正率△3.7%>)。平成 27 年度計画をみると、3 年振りに前年比二桁増(同+16.9%<同+6.9%>)となっているほか、製造業・非製造業とも上方修正されている(修正率；製造業+6.2%・非製造業+8.1%)。

県内の官民建設工事全体の出来高総計は、増加基調を維持している(平成 27 年 5 月前年比+18.8%；平成 24 年 2 月以降 40 ヶ月連続)。

3. 生産動向

鉱工業生産指数(季節調整値)は、昨年 10~12 月(前期比+1.3%)、1~3 月(同+4.2%)と 2 四半期連続で増加したあと、4~5 月の 1~3 月対比は減少(同△2.6%)しているなど、横這い圏内で推移している。

—— 主要業種別にみると、電子部品・デバイスは持ち直しに向けた動きがみられている。一方、窯業・土石製品は横這い圏内の動きとなっている。また、生産用機械や輸送用機械は弱めの動きとなっている。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率(季節調整値；平成 27 年 5 月)は、1.23 倍となった。

—— 平成 25 年 5 月以降 25 ヶ月連続で 1.00 倍以上を記録。

—— 有効求人倍率 1.23 倍は、平成 4 年 4 月以来の水準。

雇用保険被保険者数(民間企業中心の全数調査)は、増加基調を維持している(平成 27 年 5 月前年比+1.2%；平成 24 年 3 月以降 39 ヶ月連続で増加)。

名目賃金指数は、増加地合いを辿っている(平成 27 年 5 月 前年比+3.0%；平成 26 年 12 月以降 6 ヶ月連続)。

雇用者所得(県内合計値)は、名目賃金指数の増加を主因に前年を上回った(平成 27 年 5 月 前年比+1.7%；平成 27 年 2 月以降 4 ヶ月連続)。

5. 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)(平成 27 年 5 月)は、エネルギー価格の下落から、2 ヶ月連続で前年を下回った(前年比△0.1%)。

6. 企業倒産

企業倒産（平成 27 年 6 月）は、5 件、3.7 億円となり、件数は前年を上回った（前年比 2.5 倍）ものの、負債金額は前年を下回った（前年比△7.2%）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>